

海底ケーブル伝送量自動測定装置

海底ケーブルでは、ケーブルと中継器が多数直列に接続され、各区間でそれらの伝送特性の差が累積される。この量を許容値以下にするため、製造段階でケーブル、中継器の伝送特性を精密に測定し管理する必要がある。このことから、1971 年（昭和 46）に、測定周波数範囲 100MHz、測定精度 0.002dB に達する超精密広帯域伝送量自動システムを研究開発した。この測定装置は、ミニコンピュータを使い、測定操作とデータ処理を完全自動化している。

出典：KDD 社史